

# 宮崎市立生目台中学校 1年生 景観教室レポート

景観は、海、山、川などの自然環境、建物や道路など目に映るまちの姿だけでなく、雰囲気や文化歴史などの印象を含め、生活空間や環境そのものであり都市の個性や文化水準を表すものです。

生目台中学校では、景観を学ぶことを通して、景観への関心や意識の向上、郷土への愛着を図ることを目的とし、令和5年9月から10月にかけて宮崎市景観課と(一社)宮崎県建築士会の協力により、1年生60名を対象とした『景観教室』を計4回行いました。「私たちにできる生目台景観SDGs」をテーマに約40年の歴史を持つ生目台団地について学習しました。

## 第1回「景観を知る、考える」 9月4日(月) 1・2時間目

### ■ 景観に関する基本的な学習

前半は「景観とは何か」という内容で、宮崎県建築士会の方々による基礎的な授業が行われました。自然や建物など、国内や世界の景観写真を見ながら、景観の考え方を学び、景観づくりでは「市民・行政・企業」が協力することが大切なことを知りました。



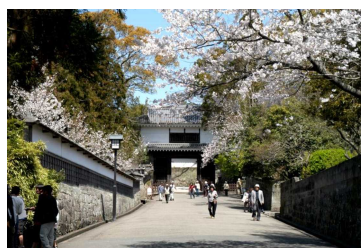
自然・道路(ワシントンアパーム)



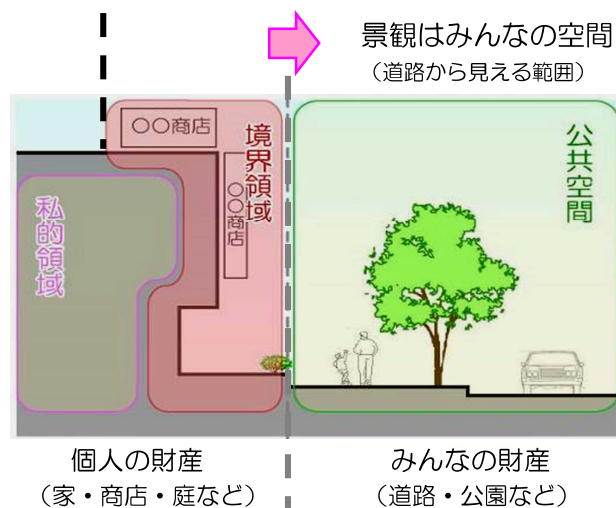
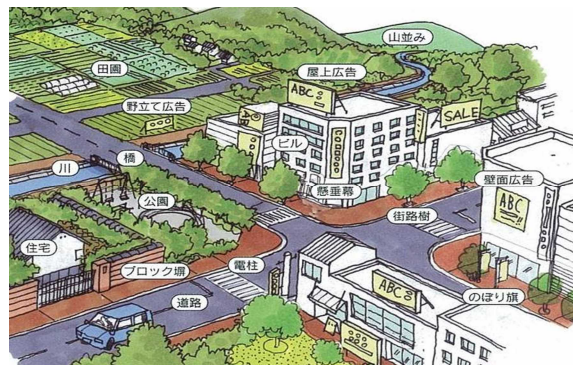
建築物(宮崎県庁本館)



産業(田野町にある大根やぐら)

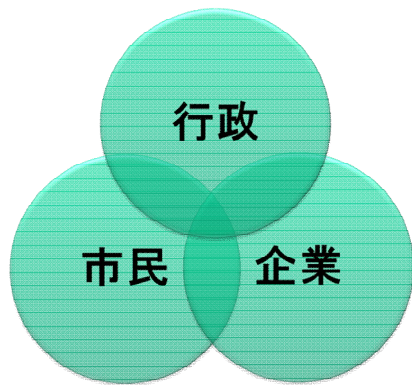


歴史(日南市 飢肥)



### ☆☆ 景観学習のポイント ☆☆

- ①景観をつくるもの：自然、建築物、看板、産業、芸術、歴史・・・
- ②景観はみんなの財産(宝物)、みんなの手で作る、守る、育てるもの。



講師の松竹さん(建築士会)



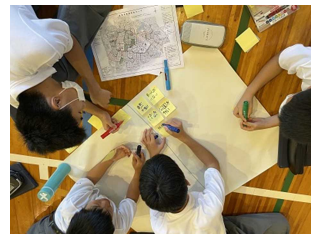
みんな真剣です！



## ■ 生目台周辺の景観を知り、未来を考える



後半は班ごとに、生目台の景観の特徴を考え、気になることやあったらいいな！など、みんなで自由に気付いたこと思いついたことを付箋に書き出しました。景観に対する気付きをもとに、次回の「まちあるき」を想定して、コースを組み立てていきました。



## 第2回「景観を調べる」 9月12日（火）1・2時間目



生目台中学校周辺を12班に分かれて、自分たちの気になる場所を調査しました。



◇まとめ作業◇  
調査箇所、ポイントを地図に落とし、各自感じたことなどを付箋に書き、張り付ける



📷 様々な場所を調査する生徒達。イイね！と思う場所で写真を撮りました。📷

## 第3回「景観を表現する」 9月21日（木）1・2時間目

### ■ 「私たちにできる生目台景観SDGs」プレゼンボードの作成

持続可能な生目台らしい景観を未来に残すべく、中学生として自分たちができることを考え提案していきました。



たくさんの写真の中から選ぶのが大変でした 📷

# 第4回「フレゼンボードを仕上げて発表する」

9月29日(金) 1・2時間目

様々な視点から考えることで、生徒たちは生目台地区について改めて知り、新たな魅力の発見もありました。生徒達は様々なアイデアを出し合いながら真剣に取り組みました。

まとめの王道・・・「起承転結」

起・・・起こる・・・物事を考えるきっかけ

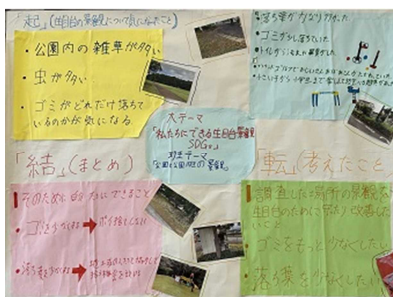
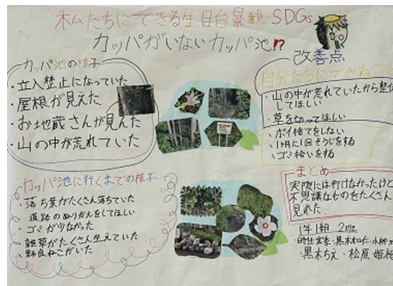
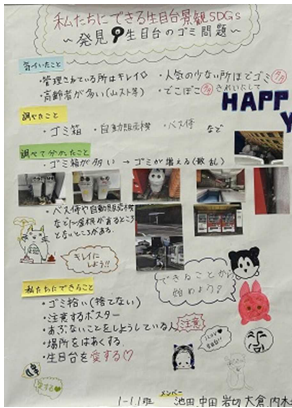
承・・・承る・・・情報を得て整理する

転・・・転がる・・・いろいろと考える

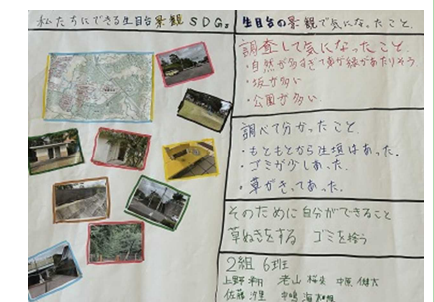
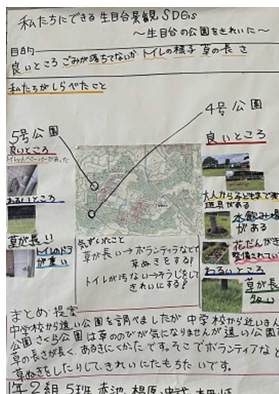
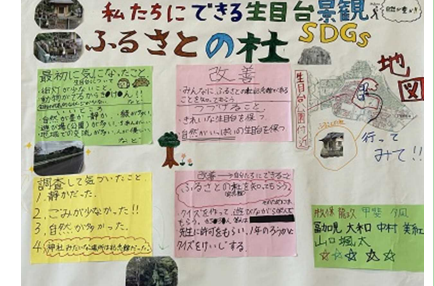
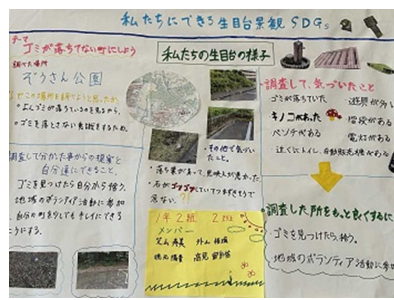
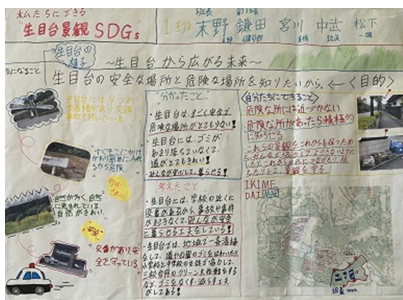
結・・・結ぶ・・・考えをまとめる

☆☆ 地域愛のあふれる作品になりました ☆☆

## ☆1組☆



## ☆2組



## ★ 発表の様子 ★



生目台地域まちづくり推進委員会の方々が発表を見に来てくださいました。生目台の成り立ちやカッパ池などたくさん話をしてくださいました。みんな興味津々で聞いていました。お忙しい中、おいでいただきありがとうございました。



### ■ 生徒の皆さんの感想（一部を紹介します）

- 生目台の景観について深く知り、友達とも交流することで絆を深められたと思います。景観はまちの個性を守り、輝かせていることが分かったので、これからも景観を守っていきたいです。
- この学習で生目台の良い所、改善していきたい所分かったので、私達にできる事は日頃から活発に行っていきたいです。自分にできる事は、ゴミを拾う事とボランティアに参加する事です。自ら行動し、少しでも良い町、きれいな町と言われる生目台にしたいです。
- 私が景観教室で学んだ事は、生目台という地域の特徴、良い所、悪い所が見つけられ、その点を私達が自ら進んで解決するために必要な力です。生目台の景観がどんなものか、班の人と一緒に考え、まとめて、発表しました。どの班も分かりやすくまとめられていて、自分たちが見つけられなかった所や、調べられなかった他の場所についても、くわしく知ることができてとても楽しかったです。
- 今まで景観についてあまり気にしていませんでしたが、景観教室でびっくりしたことや、改善したいことがたくさんあり、景観を気にするようになりました。なので、ゴミが道に落ちているのを見ると、近くにあるゴミ箱に捨てたり、友達と遊ぶ時はなるべくゴミ袋を持ち歩くようにしています。景観教室で学んだ事を思い出し、これからも生目台の景観を大切に、大事にしていきたいです。そしてこのことをたくさんの人々に知ってもらってみんなで景観を大切にしていきたいです。
- 住んでいる地域をきれいにするには、ひとりひとりが意識することや、その地域を愛し、大好きになることだと学びました。

### ■ 景観教室を終えて・・・参加された皆さんへ

宮崎県建築士会 会長 松竹昭彦

生目台中の皆さんと一緒に景観の勉強ができたこと、大変嬉しく思っています。また 一生懸命に取り組んでいただいたことに感謝します・・・どうもありがとう。

今回の景観教室のテーマは「私たちにできる生目台景観SDGs」でした。皆さんが住むまちのことは皆さんが一番よく知っているはずなのに、その良さにはなかなか気づかないものです。改めて見てみると、身近にいろんなステキなところがいっぱいありました。そしてそれはまちの顔になっています。しかし、そんなステキなところは永遠ではありません。うっかりするとすぐに壊れてしまい、まちの顔はくすんでしまいます。でも大丈夫、今回気づいたまちのステキはちょっとした気遣いで守られ引き継がれていきます。大切なのは行動することです。学校の周りをみんなでちょっと綺麗にしてみるとかね・・・ホントちょっとしたことでいいのです。

中学生である皆さんの街に優しい行動は必ずまちの多くの皆さんに響き、まちはステキだらけになりますよ。

さあ、生目台中の皆さんにできる景観SDGs・・・早速始めてみませんか！！

